活動報告レポート

環境アドバイザー
氏名 清水　克己

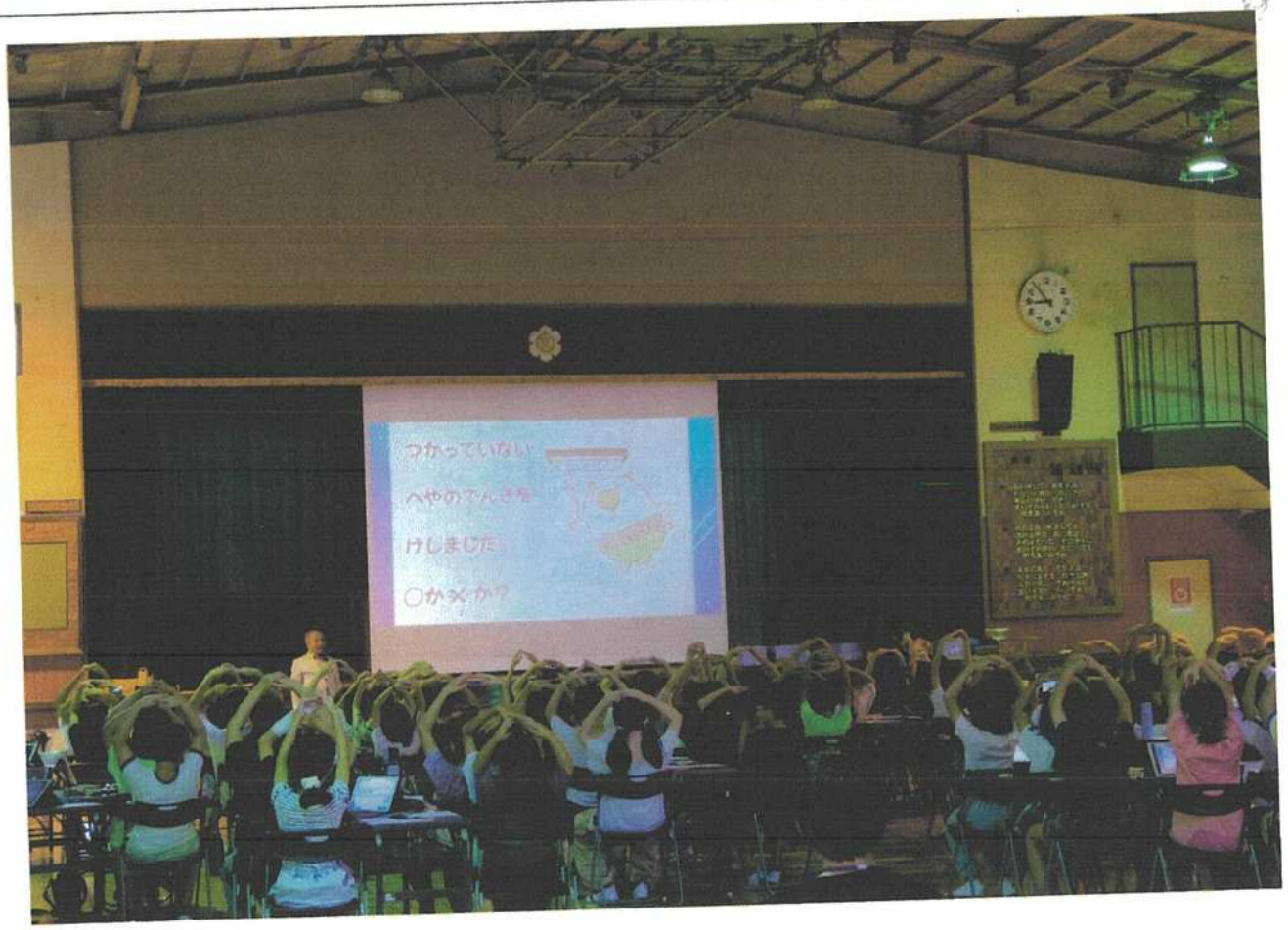
1　概要

実施日、時間	令和８年９月３日(木)　　８：４０～１０：２０
実施団体	朝霞市立朝霞第二小学校
対象者（人数）	120 名（5 年生）　他見学者（県、市職員、一般 10 名）
実施場所	朝霞第二小学校　体育館
講座等の名称	出前講座
講座等の分野	地球温暖化・SDGs

2　活動内容

近年は、特に地球温暖化、気候変動が増加しており、その対策として私たちに何が出来るであろうか！埼玉県知事より委嘱を受けている地球温暖化活動推進員として、法律、埼玉県条例の規定に基づき、毎年9月に「デコ活国民運動」として今年で9年目になりますが、朝霞市立朝霞第二小学校5年生を対象に「地球号発進」～環境問題について考えるための基礎知識～について、プロジェクター映像により、クイズを取り入れながら地球温暖化対策、カーボンニュートラルを目指し、省エネ、食品ロス、SDGｓ…地域の誰一人残さず、みんながずっと豊かに暮らせる世界をつくるための目標。美しく、平和な地球を未来の子供たちへ

第2部「環境に配慮した商品づくり」日本は一人年間327個の卵を消費します。日本全体で約1兆個の卵の消費量。昨年第二小学校は環境宣言を行いさらに地球温暖化対策、SDGsの時代を創共し、体験学習として卵の殻を資源の有効活用SDGs12、自主研修として、卵の殻からチョーク作りに挑戦しました。


つかっていない
へやのでんきを
けしました
○か×か？

活動報告レポート

環境アドバイザー
氏名 清水　克己

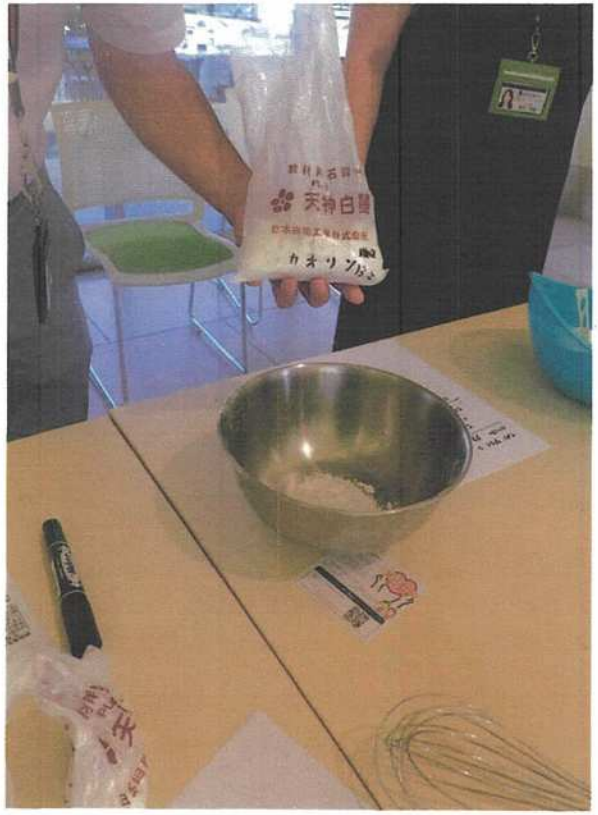
1　概要

実施日、時間	令和８年８月８日（土）
実施団体	株式会社リゾン
対象者（人数）	６名
実施場所	株式会社リゾン本社会議室
講座等の名称	チョーク作り準備（9月3日）
講座等の分野	SDGs

2　活動内容

相互協力・包括連携協定を別紙のとおり、三者にて結び、卵の殻の有効利用しチョーク作りを行い環境や気候変動も含む地球規模の諸課題の解決やSDGsの実現に向け、教育の充実を図るため、チョーク作りはまず卵の殻を粉状にしてから炭酸カルシウム他4種類の物質を粉状に100g単位にするわけですが、1時間45分では子供たちには出来ないので、あらかじめ日本白墨工業(株)で粉状にした卵の殻等を無料提供してもらい、8月8日㈱リゾン本社にて社員5名と、6名で1袋100gに撹拌し約2時間要しましたが、9月3日の子供たちが時間内に思い思いのチョーク作りに楽しく挑戦できました。

校長先生の後日の談話…子供たちは、チョーク作りに自ら卵の殻を粉状にして楽しくチョーク作りに挑戦しているとのことです。


天神白雪

